

小規模多機能ホームさかえまち 運営推進会議議事録

日時：平成30年8月25日(土) 14:00～15:00

参加者：利用者2名、 家族4名、地域包括センターせせらぎ1名、
在宅事業者協議会事務局1名、職員3名

議題

< 8月の稼働状況 >

登録人数：21名 (2名特養に入所された)

毎日の利用状況：通い平均 12.7 / 18人

宿泊平均 3.6人 / 1日

訪問平均 9.5回 / 1日

285回 / 月

< 活動報告 >

- ・夏休みのため、小学5年生1名、高校生5名がボランティアに来てくださっています。
活動の最後にアンケートの記入をお願いしているので紹介します。

「自分の予想していた満足度をはるかに超えていて、こんなに楽しいのかと思った。また、ご老人の方々と戦争や歴史の話をし、普段話さないことや実際に戦争の経験をした方から話を聞いて、自分の戦争などに対しての視野が広がった」(高校1年生 男子)

- ・7月から新しいボランティアさんが来て下さっています。
絵手紙・習字・墨絵・散歩・歴史の話などして下さる方で、絵手紙からスタートしています。皆さん、手元に集中して熱心に描かれています。
- ・8月からもう1名のボランティアさんがきて下さり、囲碁・体操などして下さっています。

< 事例報告 >

- ・昨年の夏、退院を機に小規模の利用が開始された方。(独居)
訪問週2回、通い週2回で利用されていましたが、体調の回復とともに自立度が高まり入浴のため通いを利用していましたが、ご自宅で入浴されるようになり、8月は通いなしで訪問のみという利用変更になりました。ご家族の心配は残っていますがご本人が「家がいい」とご自分の暮らしをされているので、その気持ちを支えられている状態です。

< 職員研修 >

- ・災害対策
- ・介護職員1日体験
小規模みなみだいら、グループホームたまだいら、の職員と交換研修で、1日を他の施設

で過ごす、という内容。9月から月に1度の割合で開始予定。

すでに1度、小規模みなみだいらで1日体験をした職員からは「他の施設を見るということとはとても勉強になる」と感想あり。

< 事故報告・対策 >

①離設事故

同日に2件発生。1名の方10時前に苑内にいらっしゃらないことを発見。

どのように苑を出られたかは不明だが、就労支援の清掃業務中の職員が玄関の掃除をしていたので扉が開いていたと思われる。

15:30 SOS ネットワークで住民の方から情報提供あり、苑に戻られた。

その10分後にそれまで穏やかに過ごされていたもう1名の方が、キッチンの窓から外に出られた。窓には鍵を取り付けてあったが、落下していたため外に出ることができた。

19:40 ご家族から「本人が戻ってきました」とお電話がある。

⇒原因と対策

- ・職員通用口のドアの前はいつも大きなソファが置いてあるが、その日は廊下の壁に沿うように置かれており、外に出ることが容易だった。ソファがあるとそこに座られたり、外で出ることには強い意識が向かないため、ソファは扉の前に置く。
- ・落下していた鍵は接着剤で固定した。
- ・ご本人が通いを利用される日は職員配置を厚くする。
- ・ガラス戸の扉は施錠する。
- ・救急搬送や、離設者が出た時など、職員の手が薄くなる時は早めの帰宅をして頂く。
(ご家族の承諾をいただいています)

②お便り帳にはさむケース記録を閉じる際に他の利用者様の物を挟んでしまった。

⇒原因と対策

- ・お便り帳の名前をしっかりと確認せずにとじてしまったことが原因。
個々のファイルと記録用紙との名前を確認し、組みにしてからファイルする。

< 利用者様・ご家族からの感想 >

初めて参加される方がいらしたので自己紹介を行いました。

- ・週に3回の利用だが、家の生活と通いでバランスが取れている。本人にとっても、家族にとっても居心地がいい。
- ・利用者として見ていると職員は身を粉にして働いていると思う。
- ・利用して1年と4か月ほど過ごしたが、確実に重くなっている。以前は3時間くらいなら一人で過ごすことができたが、今はできない。家族の誰かが一緒にいるようにしている。

- ・調子が良いと歌を歌うことがあったが、そうゆうことがしばらくなかった。しかし先日歌っていた。久しぶりだった。

< 地域包括センターせせらぎさんから >

- ・ボランティアの話があったが、包括としても日野台や日野高に認知症サポーター養成講座で行っている。高校生がサポーターを意識して受講してくれるのが有難い。
- ・9月に認知症月間がある、チラシを持ってきたので、いけるところがあればぜひ参加してください。

< 在宅協議会事務局の方から >

今回初めて参加させていただきました。
これからもよろしくお願いします。

次回の予定 10月